

均霑(キンテン)霑はうるおう。平等に利益を得ること。

久遠(クオン)永遠。また、遠い昔のこと。

公家(クゲ)朝廷。また、朝廷に仕える者。

口伝(クデン)秘伝などを口で伝えること。

句読(クトウ)文章の区切り。句点と読点。

求道(グドウ)仏の正しい道を求めること。

功德(クドク) 神仏からよい報いを与えられるような良い行ない。 神仏の恵み。

公方(クボウ) 公事。 朝廷。 幕府。

供物(クモツ)神仏に供える物。

供養(クヨウ)死者の霊に供え物をして、その冥福を祈ること。

紅蓮(グレん)まっかなはすの花。転じて、猛火のほのおの色のとえに用いる。

警咳(ケイガイ)せきばらい。 例 某氏の警咳に接する(親しく会うことを言う)

慧眼(ケイガン)物事の本質や裏面を見抜くすぐれた眼力。

炯眼(ケイガン)きらきら光る目。慧眼の意味にも使う。

荆棘(ケイキョク)いばら。転じて、困難の意に用いる。

景仰(ケイコウ)徳を慕い仰ぐこと。

契合(ケイゴウ)割符を合わせたように、二つの物がぴったりと合うこと。

形而下(ケイジカ) 形を備えているもの。感性的経験で知りうるもの。

形而上(ケイジジョウ) 形を備えていないもの。 感性的経験では知りえない、有形の現象の世界の奥にある究極的なもの。

傾城(ケイセイ)城を傾けるような美女。転じて、遊女の意味にも用いられる。

逆旅(ゲキリョ)逆は迎える。旅人を迎える所の意で、“旅館”。

下向(ゲコウ)低いほうへ下ること。都から地方へ行くことを言う。

懈怠(ケタイ)なまけること。